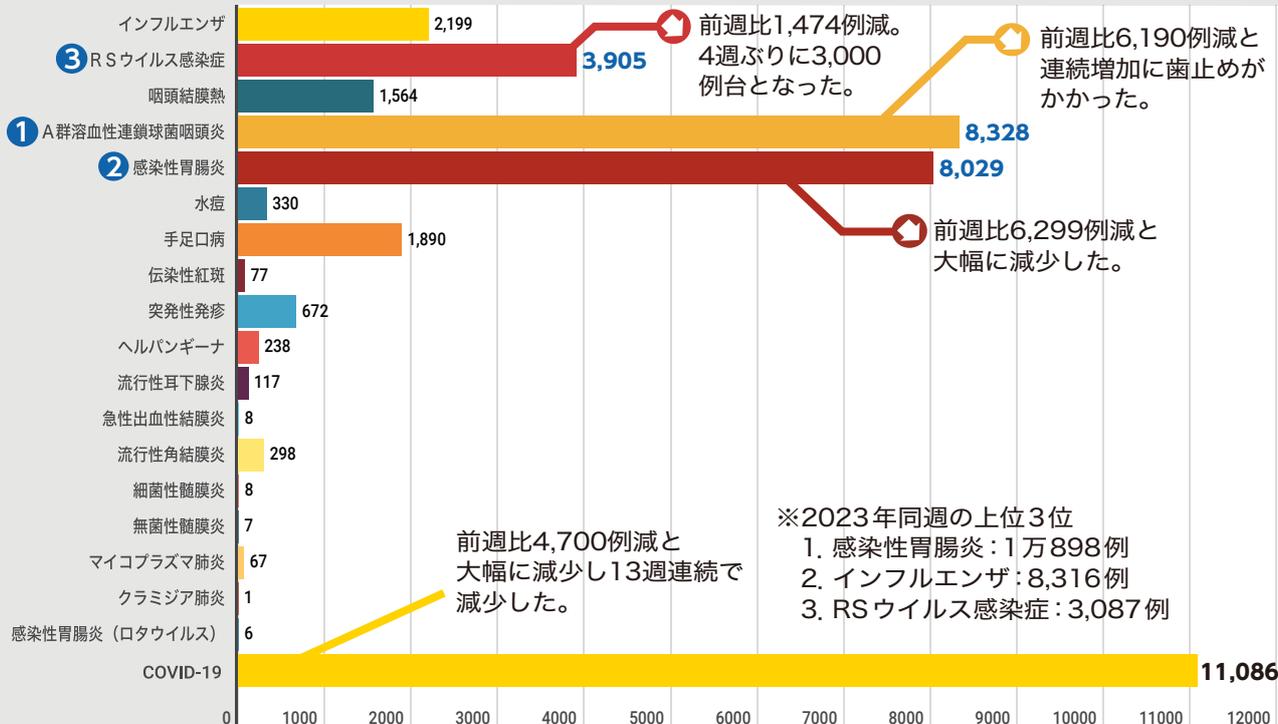


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

軒並み減少も、連休明けの反動に警戒を

丸数字は上位3位



※2023年同週の上位3位
 1. 感染性胃腸炎: 1万898例
 2. インフルエンザ: 8,316例
 3. RSウイルス感染症: 3,087例

(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 北海道: 661例
- 東京都: 595例
- 福岡県: 554例

定点当たりの報告数(2.69)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 山形県: 7.00 | 4. 福岡県: 4.62 | 7. 宮崎県: 3.86 | 10. 山口県: 3.30 |
| 2. 鳥取県: 5.32 | 4. 愛媛県: 4.62 | 8. 福島県: 3.47 | 11. 新潟県: 3.05 |
| 3. 北海道: 5.05 | 6. 茨城県: 4.07 | 9. 埼玉県: 3.46 | 12. 香川県: 3.04 |

② 感染性胃腸炎

報告数

- 東京都: 678例
- 大阪府: 618例
- 兵庫県: 476例

定点当たりの報告数(2.59)

- | | | | |
|--------------|---------------|--------------|----------------|
| 1. 富山県: 7.04 | 4. 鳥取県: 4.21 | 7. 福井県: 3.56 | 10. 山形県: 3.21 |
| 2. 大分県: 6.22 | 5. 兵庫県: 3.69 | 8. 熊本県: 3.52 | 11. 鹿児島県: 3.20 |
| 3. 石川県: 4.69 | 6. 和歌山県: 3.57 | 8. 愛媛県: 3.30 | 12. 大阪府: 3.17 |

③ RSウイルス感染症

報告数

- 大阪府: 365例
- 東京都: 325例
- 兵庫県: 233例

定点当たりの報告数(1.26)

- | | | | |
|---------------|--------------|---------------|---------------|
| 1. 山口県: 3.30 | 4. 福井県: 3.00 | 7. 大阪府: 1.87 | 10. 愛媛県: 1.65 |
| 2. 奈良県: 3.21 | 5. 三重県: 2.69 | 8. 兵庫県: 1.81 | 11. 滋賀県: 1.59 |
| 3. 和歌山県: 3.17 | 6. 佐賀県: 2.17 | 9. 鹿児島県: 1.76 | 12. 新潟県: 1.45 |

今週の感染症動向

大型連休の影響が、報告数は軒並み減少した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎、感染性胃腸炎はいずれも1万5,000例に迫っていたが、8,000例台まで減少した。一方で前者の報告数を昨年同週(1,837例)と比較すると4.53倍で、昨年とは異なる動向が見てとれる。RSウイルス感染症は年始からの連続増加がストップし、4週ぶりの3,000例台となった。しかし定点当たり報告数(1.26)は第13週以降、過去10年で最も多い状況が続いており、約1万5,000例を記録した2021年と同様の傾向をたどらないかが懸念される。COVID-19は13週連続で減少した。大半の感染症が減少する中、手足口病は前週比94例増加し、定点当たり報告数は大分県(5.47)で警報水準(5.00)を超えている。昨年は連休明けに多くの感染症が増転しているため、今後の動向を警戒したい。